星翔

和歌山県立
星林高等学校同窓会報

星林高等学校同窓会事務局
〒641-0036和歌山市西浜2丁目9-9
(星林高等学校内)
TEL073(444)4181　FAX073(444)6332
E-mail:DOSOKAI@seirin-h.wakayama-c.ed.jp
会長　中村協二

新しい年を迎えて

星林高等学校同窓会会長　中村協二(12期)

新しい年を迎えて同窓生の皆様にはお元気にお過ごしでしょうか。

日ごろは何かと星林高校同窓会の活動にご協力くださり、ありがとうございます。

おかげさまで、昨年度も同窓会本部および関西支部の総会をはじめ春秋の親睦ゴルフコンペ、春のふるさと再発見ウォークなどの諸行事を行うことができ、感謝いたしております。

さて、星林高校は、校長をはじめ学校関係者のご尽力により、学力の向上とともに文化・体育両面にわたって課外活動が活発であり、明るく・楽しく学べる学園として高い評価を得ているところです。

星林高校の良き伝統が今に引き継がれ発展されていることに、同窓生も誇りに思い喜んでおります。

星林高校では今年で六十六期目の卒業生二八〇名を社会に送り出し、同窓生は累計約二万八千名に上ります。

同窓会の活動としては、毎年夏に集会を開いて、主に母校出身の有識者の講演を聴くとともに懇親会を開いていますが、隔年の集会は総会として役員改選や会計報告をも加えて行っています。また、春・秋にはゴルフ大会を行うとともに「ふるさと再発見」と銘打って和歌山県内の旧市町村を地元の人に案内していただいて探索ウォーキングを行っています。

私たち同窓生は年を重ねるにつれて、特にリタイアして仕事から解放されると過ぎ越しの人生を振り返るようになり、母校に対する懐かしさも強くなってくるものです。

そんな時にはなおさら同窓会の各種のイベントにふるってご参加くださり、思い出話に花を咲かせていただければと願っています。

終わりに、今春卒業された皆さんは新しく同窓会に入会されるわけですが、心から歓迎いたしますとともに同窓会の皆様には今年も引き続き同窓会活動にご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、「星翔」一五、〇〇〇部の印刷、送料等の費用は同窓生の広告によってまかなっております。ご協力いただいております広告主様の方々には、この場をお借りし厚くお礼を申し上げます。

同窓会の皆様に支えられて

星林高等学校校長　有本欽治

日頃から本校の教育活動にご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

星林高校に赴任して二年が過ぎようとしています。この間、同窓会総会や関西支部総会に出席させていただき、同窓会員の皆様と楽しい時間を過ごさせていただいていることをとても嬉しく思っています。

昨年の十一月三日に星林高校の第二十七期の同窓会にお招きいただきました。一四七名の参加者は高校時代に戻って楽しい時間を過ごされていました。私も二十七期の皆様と同年齢であり、私の中学校の同窓生たちもたくさん来られていました。様々な分野でご活躍されている皆様と交流できてとても勉強になりました。また、約四十年前、星林高校の文化祭に出場した二十七期のバンドメンバーと、昨年の星林高校卒業生(軽音楽部)とがコラボレーションした演奏はとても盛り上がりました。本当に充実した楽しい同窓会でした。

さて、私ども教職員は同窓生の皆様の期待に応えるべく、全員一丸となって生徒の持てる力を一〇〇%伸ばそうと勉強やクラブ活動等の指導を行っています。生徒一人ひとりの潜在能力は、私たちが想像できないくらい大きなものです。その可能性を大切にしたいと考えています。授業内容のレベルを高めつつ、わかりやすい授業を行うため、教育技術の向上を日々目指すとともに、一人ひとりの生徒のために心をこめて授業をし、また、クラブ指導をしています。これらの取組が、学校を変えていく力となると信じています。

進学の面では、昨年度の卒業生は国公立大学に現役で三十三名(過年度生を含めて四十名)合格しました。いわゆる難関私立大学にも着実に合格者を増やしてきています。このまま右肩上がりに実績を積み重ねて行きたいと考えています。専門学校への進学や就職についても、補習や面接等のきめ細やかな指導を行うことで成果が出てきています。

クラブ活動については、体育部ではヨット、ボクシング、フィギュアスケートで計十三名がインターハイに出場しました。また、セーリング(本校ではヨット部として活動)、陸上、ボウリング、馬場馬術競技で計六名が国体に出場し、ボウリング競技は四位に入賞しました。二年後の和歌山国体では様々な種目でさらに頑張ってくれることを期待しています。文化部では吹奏楽部が昨年に引き続き県代表として関西コンクールに出場して銀賞を頂きました。さらに放送部は今年度から昼休憩に「星っ子ラジオ」と名付けた十分間の校内放送を開始し、その存在をアピールしています。その成果もあったのかもしれませんが、放送部も全国大会に出場しました。また、書道部生徒の作品は和歌山県代表として全国大会に出品されました。軽音楽部も関西支部の懇親会で演奏させていただく等、様々な機会で頑張っています。このようにクラブ活動が活性化することで、学校の雰囲気は大きく変わってきました。勉強とともにクラブ活動も頑張ることで皆様の期待に応えられる星林高校にしたいと思っています。皆様には、様々な機会をとおして、体育部・文化部の活動にご支援をいただいておりますし、実際にご指導下さっている方々もたくさんおられます。

今後とも星林高校をよりよくするために、皆様方のさらなるご支援ご協力をお願いいたします。そして、お近くに来られた際には、是非、懐かしい母校の星林高校へお立ち寄り下さい。

平成26年度 星林高校同窓会 講演会・懇親会のお知らせ

日　時／平成26年7月27日(日)
同窓会／15:00～15:30(14:30受付)
場　所／ダイワロイネットホテル和歌山 4F プレジール
〒640-8156 和歌山市七番丁26-1
TEL073-435-0055
会　費／7,000円
講　演／15:30～16:30
講師／和歌山市教育委員会 教育局長
阿形博司(25期)
演題／和歌山市の教育の現状と課題
懇親会／17:00～19:00

お申し込みは
星林高校同窓会 事務局まで
〒641-0036 和歌山市西浜2-9-9
電話073-444-4181 FAX073-444-6332
お酒をお飲みになる方は車等の運転はお控えください

Party & Convention
in DAIWA ROYNET HOTEL WAKAYAMA

株式会社 TWINS
〒640-8156 和歌山県和歌山市七番丁26-1
モンティグレ3階　TEL.073-435-3333
http://www.drhw.jp

輝眸KIBOU(事業報告)

平成25(2013)年

3月 1日(金) 卒業式　古田　皓　【星林高校】
「星翔」第18号発行　5000部
3月31日(日) 第2回春の親睦ゴルフ・コンペ17名参加
【和歌山カントリー倶楽部】
4月 9日(火) 入学式　中村協二会長　【星林高校】
5月25日(土) 第11回ふるさと再発見ウォーク
「旧名手本陣と清州の里を訪ねて」
17名参加
7月 6日(土) 県立高等学校同窓会連絡協議会
有本校長・中村協二会長他出席 【橋本市】
7月18日(木) 役員会
8月10日(土) 同窓会総会　104名出席
【ホテルグランヴィア和歌山】
10月 3日(木) 第14回同窓会親睦ゴルフコンペ 26名参加
【紀の国カントリー倶楽部】
11月 2日(土) 役員会
12月26日(木)「星翔」20号編集会議

平成26(2014)年

1月10日(金)「星翔」20号編集会議
1月16日(木)「星翔」20号編集会議
1月17日(金)「星翔」20号編集会議
1月28日(火) 第66期生各組代表幹事　中村協二会長他
紹介式ならびに記念撮影　【星林高校】
2月28日(金) 同窓会入会式　貝尻加寿代副会長

平成25年度 同窓会入会式

平成二十六年一月二十八日(火)に第66期卒業生の同窓会入会式が実施されました。

北澤正憲事務局長より入会歓迎の挨拶があり、皆さんを同窓会の新会員として迎えることを喜びました。

また、同窓会終身会費として例年どおり三千円の納入をお願いいたしましたが、これは同窓会活動における各種行事費、事務局費に充当していますのでご理解くださるようお願いします。

第66期卒業生各組幹事は次の皆さんです。

第66期生☆各組幹事

3A 柴田　柾・三澤　行輝
3B 若林　崇・平田　飛鳥
3C 黒原　章斗・江原　美帆
3D 竹田　成樹・原田　栞里
3E 榊原　僚太・有北　希江
3F 山口　正悟・有本　静香
3G 高石あさみ・橋田佳菜子

同窓会新役員紹介

顧　問	鈴木	俊男(7期)
顧　問	鎌田冨士夫	(8期)
顧　問	北山	順英(20期)
会　長	中村	協二(12期)
副会長	中村	圭子(5期)
副会長	青山	喬一(10期)
副会長	貝尻加寿代	(12期)
副会長	小西	博久(19期)
副会長	吉田	哲人(19期)
副会長	樫畑	直尚(28期)
関西支部長	原	武彦(13期)
幹事長	中村	作太(16期)
副幹事長	宮本	芳寛(22期)
副幹事長	山口	昭昌(22期)
事務局長	北澤	正憲(16期)
事務局次長	畔柳	英子(19期)
書　記	木下	洋子(16期)
書　記	佐伯	勝代(16期)
書　記	古田	皓(16期)
会　計	石畑	行啓(32期)
会　計	宮本	久実(31期)
監　査	西殿	和儀(7期)
監　査	南方	孝一(19期)

同窓会関西支部便り

「第12回総会開催」

平成25年6月2日
大阪 なんば 敦煌にて

原　武彦 関西支部長

お蔭様で支部総会も十二回目の開催を迎えることが出来ました。当日は来賓として同窓会本部中村協二会長のご出席を賜りました。そして六十八名の会員の皆様の参加を頂き、充実した総会・懇親会を開催することが出来ました。心からお礼申し上げます。総会では役員の再選（支部長 原 武彦・十三期、会計 貴志 順・十八期）並びに会計報告、事業報告が承認されました。引き続き講演では母校から初めて軽音楽部十二名に参加頂き、高橋昭仁先生の指導のもと、懐かしい曲を含め目の前の演奏で出席者全員元気と勇気を頂きました。支部では以前から母校への支援活動に力を入れていましたが、この度も募金活動を実施したところ、多くの会員の協力を賜りました。支部活動として定着した春秋二回（四、九月の第二月曜日）のゴルフコンペや十月には一泊バスツアーも大人気で四十五名の参加を頂き、なばなの里（桑名市）のイルミネーション、式年遷宮後の伊勢神宮参拝などを楽しみました。関西支部では会員強化が必要と考え二十四期まで案内し会員拡大に努めました。以上ですが、次回は平成二十六年六月一日（日）に開催を予定しています。支部活動は今後も世代を超えた楽しい交流の場と考えていますので是非ご参加頂ければ大変嬉しく思います。今後とも関西支部へのご支援、ご協力よろしくお願い申し上げます。

平成26年支部総会・懇親会のご案内

日　時／平成26年6月1日(日曜日)12時～15時(受付は11時30分より)
場　所／大阪　心斎橋　中国料理大成閣（TEL：06-6271-5238）
アクセス／地下鉄御堂筋線心斎橋駅　5番・6番出口
　　大丸本館・北館の間を 東へ100m（徒歩2分）
会　費／8,000円

申込み：実施の都合上４月末日までに母校同窓会内「関西支部」宛にハガキ又はFAXにてお申し込みください。
※登録会員の方は、発送ご案内の所定のハガキにてお申込みください。
※新規のご参加の方は、ハガキ又はFAXにてお申込みください。
FAX.073-444-6332（同窓会関西支部宛）
※登録会員には直接ご案内しますが、手違いの恐れがありますので４月中旬までに届かない場合はご照会ください。

関西支部登録メンバーの募集

京阪神在住の方や和歌山在住の方も多く現在約三百名が登録されています。クラス会や同期会等の場で広く参加を呼び掛けていただければ幸いです。皆さまの口コミが最大の武器です。ご協力お願いします。

ふるさと再発見ウォーク

第11回　旧名手本陣と青洲の里を訪ねて

平成25年5月25日（土）

昨年初夏の頃に合併前の那賀町名手にある旧名手本陣と華岡青洲の里を地元の名手商店街に住む二越和勇さんの案内で散策しました。二越さんの家業はお茶屋さんですが、県庁に勤められていた方であり、男声合唱団ほえーるの長老としてがんばっておられます。旧大和街道沿いにある名手本陣は紀州徳川家の参勤交代の際の宿泊所として使われた建物であり、現在、修復され、公開されています。大人数のための食事を用意する大きなへっついさんのある台所や殿様の泊まった座敷などが見られます。

また、華岡青洲はこの地で治療に当たられたようで、小高い丘に治療所が復元され、乳がんの手術など人形によって臨場感を高めています。奥まったところに華岡家歴代の墓石が集まった墓所があり、訪れる人も少ないようでひっそりと佇んでいました。

資料館では旬の野菜をふんだんに使った食事が出されていましたが、工夫された多品種の料理がバイキング形式で提供され、訪れる人に好評を博しているようです。眺めの良いベランダで飲んだビールとともに幸いなひとときを過ごせました。

秋に予定していた旧下津町の長保寺は台風の影響で急きょ中止になりましたので、今年の春、桜の頃、四月五日(土)に改めて行きたいと思いますので皆さんのご参加をお待ちしています。

第11回 旧名手本陣と青洲の里を訪ねて　5月25日(土)

第12回予告　長保寺（紀州徳川廟）国宝を訪ねて

■主　催　星林高等学校同窓会
■日　時　平成26年4月5日（土）
　　9時30分
　　JR和歌山駅中央口集合
■参加費　200円
■食　事　お昼のお弁当をご持参ください。
■解　散　JR和歌山駅　14時40分ごろ
■締　切　平成26年3月20日
■申込先　星林高等学校同窓会事務局
　　FAX 073-444-6332

第2回 春の親睦ゴルフ・コンペ
第14回 同窓会親睦ゴルフ・コンペ

3月31日　於：和歌山カントリークラブ

優勝者
酒本正志氏（37期）

なごやかに開会式を終え、さあスタートと意気込んだとたん「ザァー」。しかも大粒だ。花冷えに雷が鳴り、風も強まってきた。「中止」の二文字が浮かぶ。五分ほど降り続いただろうか。桜谷支配人の「もう大丈夫」が天使の声のよう。それからは快晴のもとでのコンペとなった。二〇一三年三月三十一日、午前九時すぎ。和歌山カントリー、アウトコーススタート地点周辺でのこと。

現役の同窓生に参加してもらおうと、日曜日に実施する、春の親睦コンペは、二回目青星会（せいせいかい）と名付けられている。参加者十七人中、最年少は44期生。森礼子県議（39期）も参加するなど、20～30期が目立つ構成になってきた。しかもこれまで参加で支えてくれた西殿和儀氏（7期）が、景品提供してくれるなど世代間の役割分担もみえてきた。

優勝はグロス81、ネット70.6で酒本正志氏（37期）。ベストグロでハンディも最少の完全優勝だ。ベスト10にグロス80台が五人も並ぶハイレベルな大会でした。

桜のつぼみはまだ固かったものの、多くの方々のご協力と、来年の再会も約束できたので、心は満開もコンペでした。

◆

秋の親睦ゴルフコンペは二〇一三年十月三日（木）ややさわやかになった紀の国カントリー倶楽部で開催した。参加者は二十六人と、ここ数年聞いたことのない多人数。

優勝はグロス87、ネット69で旧職員の山岡正樹氏。十四回の伝統を反映して喜寿以上の参加者は五人。平均年齢も七十歳を超えていたが、二〇二〇年東京オリンピック開催が騒がれていた時だったので、あちこちで、一九六四年の東京大会の思い出話と合わせたスポーツ談議が続いた。

そして合言葉は『東京開催まではゴルフを続けよう』と、みんな元気に解散。

さて第三回青星会（春の親睦ゴルフコンペ）は三月三十日と、さらに二〇一五年は三月二十九日の各日曜日、和歌山カントリー倶楽部で、それぞれ開催し、十五回目になる秋の親睦ゴルフコンペは十月八日（水）紀の国カントリー倶楽部で予定している。オリンピック以上に、参加することに意義がある（？）大会だ。ご協力いただいたみなさん本当にありがとうございます。これからもよろしく。

（幹事・古田皓記）

10月3日　於：紀の国カントリー倶楽部

優勝者
山岡正樹氏

わくわくスケッチング
―その後―
「海南医療センター」様へ鉛筆淡彩画を寄贈して

地域医療の核として海南市民は勿論地域周辺の方々が待望する病院が昨年三月に「海南医療センター」として開院しました。この建設工事にあたり、海南市民病院事業管理者としてこの事業を任された小山陽様は私が星林高校に在職中に在籍していた生徒でありました。それは半世紀も前の事でした。

さて、「わくわくスケッチング」の絵画展を観に来てくれていました小山様から鉛筆淡彩画は「素朴で、優しい絵」という感想をいただいておりました。さらに、海南医療センター完成後には鉛筆淡彩画の寄贈を依頼がありました。

全く素人の私が趣味で描いた絵を多くの方々が来られる病院に展示するということには戸惑いがありました。しかし、私なりに考え夫と相談して私が描いた鉛筆淡彩画三十点を寄贈することに決めました。この絵は私が星林高校同窓会によるスケッチグループ「わくわくスケッチング」の皆様と万葉の故地・和歌山城・由緒ある杜寺など様々な所を訪ねて描いたものです。鉛筆淡彩画三十点は季節ごとに絵を取替えて展示が出来ますように静物画や風景画を選びました。それは、入院されている患者さんに「時の移ろい」を実感していただけるように草花、果物、野菜、風景等を選びました。

「海南医療センター」に心配や不安を抱えて多くの方々が来られる中で、お一人でも私の絵を見て心が和らぎ、癒していただけたら光栄です。また、病院のスタッフルームにも絵を展示しています。激務の病院関係者の方々が私の絵を見て少しの間でも「ホッ」とする時が持てれば嬉しいことです。昨年三月中旬に「海南医療センター」を夫と訪ねました。院長室を初めとして談話室や手術室等前の十ケ所に絵が展示されていました。私のスケッチブックから飛び出した絵は、額の中に「凛」として納まり、しっかりとその役を果たしているように感じました。

今後は同総会の皆さまと地域や公に奉仕できる活動が出来ればと願っております。

同総会副会長
貝尻加寿代（12期生）

平成25年3月15日海南医療センターを訪ねて
小山陽さん（19期）・貝尻忠一・加寿代（12期）
東伸行さん（19期）

5階デイルーム
（オブコニカ）

リハビリ室
（チューリップ）

平成25年1月17日海南医療センターへ
鉛筆淡彩画30点を寄贈して
小山陽さん（19期）・貝尻加寿代（12期）
東伸行さん（19期）

管理者室（名草山）

院長室（あじさい）

健診センター（和歌浦）

会議室（和歌山城）

平成25年3月15日海南医療センター
4階デイルーム「ひまわり」の絵の前にて
貝尻忠一・加寿代（12期）

貝尻さん寄贈

患者の心、和やかに
医療センターに淡彩画

「心を絵で和ませて」と
貝尻さん㊨とこやまさん

わかやま新報
2013年3月19日（火曜日）掲載

星林同期会だより

同期会やクラス会をこの欄で紹介します。写真に日時・場所・会名・おたより等を添えて事務局（星林高校）までお送りください。

硬式テニス部OB会（18期～22期）

平成25年4月20日（土）　於 第二富士ホテル

青春の想い出が一杯詰まった星林のコートに腕自慢、脚自慢の有志が集まりました。あいにく途中から小雨が降りましたが、校長先生や顧問の先生も交え、楽しくラリーや練習試合をし、現役プロコーチの岡田千秋氏は高校生の指導をされました。

夜の懇親会では、思い出話に花が咲き、当時では言えなかった裏話などを聞き、楽しいひと時を過ごしました。参加者は18期より22期までの24人でした。

今回、お世話頂いた20期の方々に感謝します。次回はより多くの方の参加を期待しています。

吉田哲人（19期）・記

27期同期会「星林ブルーの三星旗のもと 27期生大集結」

平成25年11月3日（日）　於 アバローム紀の国

38年の時を越えて還暦前に同窓会をと言う事で第1回同窓会が11月3日（日）アバローム紀の国で開催されました。27期生147名恩師四至本先生、松野先生、二澤先生、吉田先生、そして同窓会副会長貝尻先生、私達と学校は違いますが、同年代の現有本校長先生、総人数153名のご出席を頂き盛大に開かれました。出席者の中には、関西・中部は元より東北・四国・九州・さらにアメリカからも駆けつけてくれました。

卒業後、初めての同窓会なので誰か判らないといけないので、気の利いた世話人が名札に卒業アルバムの写真を貼ってくれたので年数を埋めるのには時間が掛からず、会話に夢中になっている最中かつての伝説のロックバンドの演奏で38年ぶりの校歌斉唱、各クラスが登壇しての紹介、恩師に花束贈呈、集合写真撮影とあっという間の3時間が経過してしまい、時間不足の声も上がる程でした。

山下耕司・記

吉田医院
吉田哲人（19期）
和歌山市手平2丁目5番6号
TEL. 073-423-5454

島本歯科
〒641-0052　和歌山市東高松2-2-20
TEL 073-422-8511
（時間予約制）
○診療時間　AM10:00～PM12:30
PM 4:00～PM 7:30
土曜PM12:30まで
○休診日　木曜・日曜・祝祭日

資源リサイクルセンター
株式会社 松田商店
リサイクルの風を和歌山から
和歌山市西河岸町46番地
TEL073-433-1212
FAX073-433-1214
http://www.eco-kururin-matsuda.co.jp
リサイクルのクルリンちゃん
クルリンロボ

TOPICS

こんにちは「南極・昭和基地より」

第五十四次日本南極地域観測隊　川崎昭仁(33期)

初めまして、昭和五十六年三月卒業生の川崎昭仁と申します。

現在、私はここ南極・昭和基地にて第五十四次日本南極地域観測隊（越冬隊）員として活動しています。総務省関東総合通信局より通信担当としてこちらに着任、昨年二月より越冬を開始し、はや越冬も終盤を迎え、次隊五十五次隊との引き継ぎをはじめ南極観測船「しらせ」との輸送など慌ただしい日々を送っています。

皆さんは南極大陸・昭和基地というとどのようなイメージを持っておられるでしょうか?『オーロラ』『タロ・ジロ』『ブリザード』『ペンギン』等々。私にとっては活字や映像を通してのみの別世界の話しでしたが、今回実際に目で見て肌で感じ、その実寸大のスケールに肝を潰す毎日の連続でした。

卒業後、まさか自分が南極から越冬隊員として皆様宛て同窓会報に寄稿するなどとは夢にも思いませんでした。それでは最後に、同窓会の皆様方の今後の御発展と御健勝をここ南極大陸より祈念し、私よりの御報告とさせて頂きます。

氷河末端にて(2013年9月19日撮影)

積雪深観測(2013年10月29日撮影)

感動と驚きあふれる南極

天体や気象の観測、生物などの調査を行う昭和基地。川崎さんが所属する第五十四次南極地域観測隊「越冬隊」は、気象庁や大学の研究機関などから参加した観測部門、医療、調理、機械、建築などを手がける設営部門の三十人が所属する。川崎さんは設営部門の通信担当で、野外行動中の隊員との無線通信、南極観測船「しらせ」との定時交信、日本本土との連絡などを受け持つ。

子どものころ、太地町の親戚から、捕鯨船で南極大陸周辺の南氷洋へ行った話を聞き、南極への憧れはずっと抱いていた。西和中学、星林高校では野球に打ち込み、卒業後は総務省近畿総合通信局に就職。三十数年間、無線局の許認可や地上デジタル放送化など電波行政に携わってきた。

チャンスが訪れたのは一昨年。職場で南極観測隊への通信担当者派遣があることを知った。自分の年齢、他の候補者の顔ぶれを見て選ばれないと思っていたが、まさかの〝合格〟。「ダメ元で『この歳でチャレンジしただけで立派』と自己満足していたら選ばれていた。驚きと同時に、任務への不安と焦りが押し寄せてきました」と振り返る。

東京にある国立極地研究所で訓練を受け、南極へ。現地では午前六時半に通信室へ入り、午後八時まで無線機の前で通信操作。消火訓練や野外行動にも参加する。三食を決まった時間にとることになっているため生活は規則正しいが、「眠るのがもったいない、という隊員が多く、少年のように天体観測や氷の彫刻作りなど思い思いに熱中しています」。さらに、「全ての隊員がその道のプロで、自分しかできないことがほとんど。誰一人欠けても隊は成立しないので、仕事に対するプレッシャーは日本にいるときの比ではありませんが、やりがいでもあります」

現地での生活は五ヵ月目に入った。南半球は日本と季節が逆なため、これから冬本番を迎える。アザラシやペンギンなど動物たちの暮らしや、オーロラ、ブリザードなど自然現象を目の当たりにし、刻々と変化する自然の表情に心躍らせている。「感動しない日は一日もない。南極は時間の流れがおおらかだけれど、人生の中で一番時間が経つのが早く感じる。時間を無駄にしないよう意識し、残された期間を有意義に過ごしたい」と話している。

ニュース和歌山　二〇一三年六月八日号掲載

株式会社　竹本建築工房
代表取締役　竹本尚史（27期）
〒641-0036 和歌山市西浜 1660-37
TEL073-441-5118　FAX073-441-5108

光定内科
和歌山市和歌浦東2-8-20
光定和男（11期）
電話 073-445-3200

不動産売買・賃貸・賃貸管理
大阪府泉南市・阪南市・岬町 地元密着の不動産会社です
関西不動産情報センター会員
株式会社 阪南住宅
アパマンショップ 阪南店
有限会社 セントラル
代表取締役　福岡孝則(19期)
〒599-0201 大阪府阪南市尾崎町53番地1(阪南市役所前)
Tel.072-471-7333　Fax.072-471-2299

行商もまた楽し　～キューバ編～

中西一男（5期）

メキシコ経由でハバナに着くと政府通商部員の出迎えを受け旧ヒルトンホテルにチェックイン。部屋の壁は処々落ちバスタブの湯は出ない。これがキューバのメンテ、水シャワーを浴びていると迎えの車が来て夕食に同行する事になりました。そこは木々に囲まれた森の中に七色のライトに輝く露天キャバレーになっていて木から木へと張りめぐらされた梯子の上で白・黒・茶色の半裸のダンサーが乱舞、周りには名にしようキューバ音楽演奏が夜空に鳴り響く様は日本で聞いていた東京キューバンボーイズの比ではない。

頭上の踊り子を見上げると美人揃いで女子バレーで見る選手のイメージとは大分違う。

自由主義諸国からの客をもてなすため国の威信にかけた社交場なんかナーと思いつつ上ばかり見ているとカリビアンの大魚料理とキューバビール、カクテルはダンギリと云うラム酒と砂糖と氷水でわったモノ、小説宝島の海賊が飲んでいたラム酒を思い出す。商人は客に出されたモノ全てが美味である事に自らの宿命を感じる。

外交官の流暢な英語に調子を合わせ、その場で習ったサルー（乾杯）と美味（もう忘れた）のスペイン語を並べて終始笑顔を忘れず、専ら頭上の踊りと本場のキューバン音楽とに酔いくれる一時でした。

ホテルに帰ってから暗いハバナの街に出ると早速一眼でそれと分かるお嬢さんが声をかけてくるがスペイン語ではサッパリ、こちらが日本人と分かると「ナマイキダメヨ」と怒られる始末、何処の国にも事情があるモノと納得するが同時に商社の駐在員は元気だナと感心する。

他の国では「アナタ・ナニ・マル」と聞かれ日本の遠洋漁業も元気と思うと嬉しくなる。

翌日政府の建築技士にアパートの建設現場を案内された時、玄関ドアの把手錠が洋服ダンスに付けてあるのを見て素晴らしいアイデアだと言ったら技士は顔を隠して「恥ずかしい」と笑っていた。因みに毎回二十万ケの玄関鍵何処に使うのかと思っていました。

日本での商談は東京六本木にあるキューバ大使館通商部ですが後の接待は六本木で松阪牛の鉄板焼ついで銀座のクラブですからハバナの屋外キャバレーと比べ数倍数十倍の金がかかる。それでも億単位の商売にはなるので日本では泣く泣くお付き合いさせて貰う。時々支払いが遅れるので、大使館へ行くと日本政府が砂糖キューバコーヒー・葉巻タバコをもっと買ってくれぬと払えない等言われ次元の違う話にガックリ。阪僑（華僑に対する大阪商人）と自負するもカリビアン商魂には負ける。以後ラム酒・キューバコーヒー・葉巻タバコは遠慮しています。

以上は二十五～三十年前の話しです。今はタイで年相応に大人しく貿易業をしています。

和歌山市民を自然災害から守る『緊急告知ラジオを製作』

山口昭昌（22期）

小学生の頃から無線機やオーディオ器の工作が三度の飯より好きだった私は、大学卒業後テレビ和歌山で十五年間放送技術に携わり、平成元年から、ビッグ愛等の視覚障害者用点字音声案内装置や、ぶらくり丁の和歌山ブルースの歌碑などのご当地ソング音声装置を全国に向け開発製造販売する会社を設立しました。

一方、趣味が高じて和歌山市にエフエム和歌山を開局したのが六年前でした。

近年各所で自然災害が多く発生しています。被災地では『もっと早く避難情報が住民に伝わっていれば…』が教訓として残りました。私はこの教訓を受け、和歌山市に自然災害の警報や避難指示が発令されると、エフエム和歌山の電波を使って自動的にラジオの電源が入り大音量でいち早く情報を知らせる『緊急告知ラジオ』を昨年開発しました。和歌山市内に大災害が起こる可能性が生じた時、この緊急告知ラジオから流れる情報で、一人でも多くの方の命が救われる事を願っています。

「兄弟お笑いコンビ・すみたに」

角谷匡俊（47期）

現在、私が漫才をしている原点は星林に入学した事に始まります。高校での三年間サッカー部に在籍し、素晴らしい仲間たちと出会い、その友達三人で修学旅行の余興大会で漫才をしたのが、今思えば私の初舞台でした。その漫才は意外にも大ウケし、舞台の上の素晴らしさを初めて感じさせて頂きました。その後進学し就職するものの、お笑いへの夢を諦められず、後にNSC（吉本興業養成学校）に入学、弟の佳洋と兄弟でコンビを結成して十三年目。これまでにM1グランプリにも出場するものの、もう一歩の所で売れる事ができませんでした。そんな折、二〇一一年、母が脳梗塞で倒れ、父一人での介護は困難だという判断から地元和歌山に戻り、母の介護をしながら皆さんに愛される芸人になるべく活動を続けております。現在は和歌山放送、FMバナナ、テレビ和歌山等や、イベントやお祭りの司会、介護施設での余興など、可愛がって頂ける場所が増えております。沢山の星林卒業生の方々にも助けて頂け、本当に皆様の温かさに感激しております。星林で学ばせて頂いた経験を元に、本年からは自分達の事務所「スマイルカンパニー」を立ち上げ、更に笑顔創りで貢献できるよう精進して参ります。

紀州　紀三井寺のお泊りお食事の総合センター
はやし
天然紀三井寺温泉 花の湯
林　素代子（12期）
〒641-0012　和歌山市紀三井寺673（国道42号線沿い紀三井寺入口）
TEL073-444-1004㈹　FAX073-446-2321　http://www.kimiideragardenhotel.com/

Moments
ホームページ作成・保守・デザイン
インターネット接続・無線化
インターネットセキュリティ
640-0103 和歌山市加太2201-76　モーメント
http://web.wakkun.or.jp/00370.htm
E-mail newmoments@mail.goo.ne.jp
Phone 073-459-2351 fax 073-459-0566
IP電話 050-1265-6943（BBフォン）

Nippon Kempo
WAKAYAMA CL.

日本拳法
和歌山クラブ
練習生募集
代表　山下耕司（27期）
TEL(073)447-2358

快適（眠り）空間
寝装・寝具 **いせた**
浅尾雅洋（33期）
和歌山市小松原5丁目（バス停前）
TEL.(073)422-1101

和歌山動物病院
獣医師
前嶋 ヒロム（20期）
和歌山市塩屋1-4-41
TEL 073-445-4397

真進堂薬局
本　店　和歌山市松ヶ丘1-8-23
TEL(073)445-2078
高松店　和歌山市西高松1-5-4丸岩ビル1F
TEL(073)436-0053

TKCシステム会計
税務相談・税務代理・税務書類作成
税理士法人 **鎌田会計**
〒641-0015 和歌山市布引608番地
TEL.073(444)3687・FAX073(444)5377
E-mail:kamada-fujio@tkcnf.or.jp

ご予算にあわせてご宴会
ご予約受付中　120名様まで
あらち **一心**
森　桂子（12期）
電話073-422-1417

農業用機械器具資材、水道・ガス工業用品
介護・福祉用品、自動車販売・民間車検
株式会社 **おかい商店**
代表取締役社長 岡井憲晃（22期）
本社　〒649-6531 和歌山県紀の川市粉河517の6
TEL(0736)73-3261(代表) FAX(0736)73-3264

キタバタ
株式会社 **北畑海苔店**
代表取締役　北畑耕作（5期）
和歌山市和歌浦中2丁目1-23
TEL073（444）0338
FAX073（446）0898

株式会社 **紀州紙商岩本**
〒641-0007　和歌山市小雑賀662-1
Tel.073-424-3211 Fax.073-425-1591
http://www.kishu-kamisho.co.jp

社会医療法人博寿会
山本病院
山本博晟（12期）
〒648-0072　和歌山県橋本市東家6-7-26
TEL:0736-32-8899(代)
FAX:0736-34-2738

株式会社 **豊工業所**
〒641-0062和歌山市雑賀崎2021の9
☎(073)448-2731(代)

有限会社 **三栄**
損害保険・生命保険代理業
三木民生（18期）
〒640-8343
和歌山市吉田432　シティビル太田4F
TEL(073)433-5818

社会福祉法人 **親和園**
理事長　名手　功（8期）
特別養護老人ホーム　デイサービス
居宅介護支援事業所　ホームヘルパー
地域包括支援センター　ショートステイ
ケアハウス
和歌山市杭ノ瀬463-1
TEL 073-473-9601(代)　FAX 073-475-3360

Pâtisserie Du Kansa
洋菓子・**カンサ**
勘佐文夫（20期）
勘佐佳史（46期）
和歌山市東高松　TEL.444-9053

— 厚生労働大臣指定 —
美 since1952
和歌山高等美容学校
Wakayama Beauty Art College
KOTO
〒640-8226
和歌山市小人町32
Tel.073-422-5257(代)
Fax.073-422-5290
URL. http://www.wbac.ac.jp/

藤井印刷株式會社
藤井　武（13期）
〒641-0051 和歌山市西高松1丁目5-17
TEL 073-424-4331(代)　FAX 073-424-4334
info@fujii-pt.com
http://www.fujii-pt.com

介護の事何でもご相談ください
●ヘルパーステーション　ホース
●居宅介護支援　ホース1
●障害者自立支援　ホース2
●認知症対応型デイサービス　花
●住宅型有料老人ホーム　湧れの杜(ながれのもり)
粋の杜(きのもり)
有限会社 ViVifala　島　ゆかこ（42期）
0120-556-398

社会福祉法人　わかうら会
理事長 土山憲一郎（7期）
わかうら園
〒641-0061 和歌山市田野175番地
TEL. 073－445－0808
雑賀荘
〒641-0035 和歌山市関戸1丁目4番13号
TEL. 073－445－0606

季節料理 **こじま**
白バイセンター　城北公園　城北地下駐車場　大同生命　笹一　R42号　こじま　城北橋　中橋
和歌山市福町四番地　TEL 073-432-3823
小島雅人（38期）
清美（38期）

和歌山市中央卸売市場
和歌山青果株式會社
代表取締役社長　岸　泰宏（41期）
〒641-0036 和歌山市西浜1660番地の401
電話（073）431－3281

鯛めし・海老めし　詰め合わせ
温かい鯛めし　ほんまもんの味を翌日着で!!
ご利用例　お中元・お歳暮　出産・快気　親しい方への贈り物に!!
元祖かぶら寿し　さば・鯛
わかやま料理 **安愚楽**
和歌山市雑賀屋町2番地　TEL.073-431-3585
直売店　近鉄百貨店・東急イン店・本店